

## 「心の記念写真①～奈良・京都へふたたび～」

校長 江口 満



令和5年2月22日(水)修学旅行に向け、二年生が一年生の時、初めて班別研修を学んだ「門司港ウォークラリー」の様子と「二年福岡ウォークラリー」の記念写真の一部を掲載することにする。修学旅行に向けて取り組んできた海江田学年の活動の様子がうかがえる。

ところで私が奈良や京都を初めて意識するようになったのは、中学校時代からである。国語の教科書に掲載された「薬師寺」と、社会科の歴史教科書に掲載された「平城遷都」と出会った



のである。

薬師寺の東塔。朱色の美しい金堂

に向かって右側にある三重の塔、薬師寺の東塔は、薬師寺の中で唯一の奈良期の遺構であり、国宝だ。各階に裳階が付いているので六重塔に見える。中学時代、私は、まだ直接見たことがないこの東塔が好きになった。題名は忘れたが、教科書には、東塔の「水煙」のお話が載っていたからだ。そのお話は、次のような内容だった。

『九輪の上の水煙に6人の飛天が舞っており、明治のフェノロサが「凍れる音楽」と形容したことは有名です。その飛天たちは文字通り空高く舞っているため、下から肉眼では見えません。昔の人々は、見えないことがわかっているにもかかわらず、決して手を抜かず、素晴らしい作品を作り上げたのです。現代の我々は、見えないとわかっているにもかかわらず、本当にそこまで手を抜かずにできるでしょうか。誰も見ていないからと甘えていないでしょうか。』私は、運良く中学生の修学旅行で薬師寺の東塔に行くことができた。そして、東塔の

昼食会場の門司港湾合同庁舎



海江田学年の修学旅行が始まる。今までの修学旅行の準備期間は、実質2年と2ヶ月間あった。しかし、「本市は、中学校の修学旅行を令和5年度から全市一斉に二学年で実施する。」という方向転換をした。集大成の年、私は一年間に二度も修学旅行の引率ができるという幸運にも恵まれたが、本校二学年の修学旅行の準備期間は、1年と8か月。今までと比べて約半年も短い。この半年は大きい。三学年と二学年という学年の意識も違う。だからこそ海江田学年は、入学した当初から修学旅行の出発の日に向け、その準備期間と意識の差を埋めるために、取り組みを開始した。

二年修学旅行出発編を綴るにあたって、今まで校長通信「ジャガイモ」で掲載できなかった「一年門司港ウォークラリー」



パナマンと



下から「水煙」を見上げた。しかし6人の飛天たちは、やはり見えなかった。(裏へ)

もう一つの平城遷都。710年、飛鳥の藤原京から奈良へ都が移され、平城京が築かれた。平城京は、奈良時代の日本の首都である。現在、その平城遷都から1310数年が経った。果たして1300年という年月は、長いのだろうか。自分が中学生の時代であれば、全く実感のわかない年月だったろう。しかし、人生を半世紀以上過ぎてみると、今までの人生の約20倍か、などと意味のないことを考えてしまうが、この長い年月を、中学生の皆さんよりも身近に感じる年齢になってしまったようだ。【次号に続く】



「二年修学旅行に生かす」

2年2組(当時1年4組) Nさん

私は門司港ウォークラリーの実行委員になって、みんなが楽しめるようにとしおりなどを頑張って作りました。2月22日当日は雲一つなく晴れていて、楽しい一日を過ごすことができました。その中でも私がとても思い出に残っていることは、スタートからゴールまで6人で協力できたことです。道を迷っていたとき、「とりあえず進んでみよう。」と考えて進んでいたら、予定よりも約10分も遅れてしまったけど、目的地に着くことができました。門司電気通信レトロ館へ行く途中、自分たちが今どこにいるのか分からなくなったけど、班の6人と協力し楽しみながら門司港について学ぶことができました。班の目標やスローガンも達成できてとても楽しい一日でした。門司港ウォークラリーの活動を二年生にある修学旅行で生かせるといいなと思いました。



「また来てみたい門司港海峡ミュージアム」

2年3組(当時1年4組) Sさん

僕が門司港ウォークラリーで心に残ったことは、門司港海峡ミュージアムの中にある国内最大級の巨大スクリーンで、迫力ある映像やインタラクティブ演出を体験できたことです。1時間おきに10分ぐらい行われていて、ちょうど来た時間と合って見ることができました。スクリーンにきれいな花でトンネルができ、その中をかなりの速度で進んできました。そして次から次へとイルカなどの魚が出てきて、地面にはいろんな魚が映し出されていました。そして音楽もとてもよかったです。映像とすぐくマッチしていてすごいと思いました。このミュージアムはとても広くて見るのができなかつたところもかなりあったので、プライベートでも来てみたいと思いました。



スクリーンにきれいな花でトンネルができ、その中をかなりの速度で進んできました。そして次から次へとイルカなどの魚が出てきて、地面にはいろんな魚が映し出されていました。そして音楽もとてもよかったです。映像とすぐくマッチしていてすごいと思いました。このミュージアムはとても広くて見るのができなかつたところもかなりあったので、プライベートでも来てみたいと思いました。

